理研BRC実験植物開発室が提供する植物培養細胞株*

植物和名	細胞株	リソース番号	特徴	培地	分譲制限**
アスパラガス	A.per	rpc00022	-	寒天	a
	A.pas	rpc00023	-	寒天	a
	A.plo	rpc00024	-	寒天	a
	Asp-86	rpc00010	[発送停止]	寒天	a
アマランサス	H440	rpc00065	植物ホルモン不要、ベタシアニンを生産(濃赤色)	ゲランガム	b1 + b3 + e
イチゴ	SB489	rpc00067	植物ホルモン不要、アントシアニンを生産(濃赤色)	ゲランガム	b1 + b3 + e
イネ	OS-1	rpc00020	_	寒天	a
	Oc	rpc00031	均一な細かい細胞塊からなる懸濁培養が可能	液体	a
ウコン	Cl	rpc00052	増殖が速く、黄色色素を蓄積した細胞が見られる	寒天	a
オウレン	Cj	rpc00054	ベルベリンを大量に生産、液胞に蓄積	寒天	a
	156-S	rpc00069	オウレン SMT 遺伝子を導入した形質転換ベルベリン高生産株(黄色)	液体	b1 + b2 + e
キダチタバコ	G89	rpc00044	-	寒天	a
ゴマ	PSB	rpc00025	_	寒天	a
	PSW	rpc00026	-	寒天	a
	PSG	rpc00027	_	寒天	a
サクラ	Co460	rpc00053	植物ホルモン不要、赤色色素(アントシアニン)を生産	ゲランガム	b1 + b3 + e
シナカンゾウ	Ge	rpc00060	エリシター処理により黄色色素(レトロカルコン)を生産	寒天	a
	Ak-1	rpc00061	エリシター処理によりファイトアレキシンを生産	寒天	b1
シロイヌナズナ	T87	rpc00008	Columbia 由来、明所で維持、緑色	液体	a
	YG1	rpc00050	Columbia 由来、暗所で維持	液体	b1
	gnom	rpc00055	gnom 変異体から樹立	寒天	e
	At tom	rpc00056	Columbia の <i>tom1</i> (EMS) <i>tom3</i> (EMS) <i>thh1</i> (T-DNA) 三重変異体由来、トバモウイルスの増殖を不許容	液体	b1
	MM2d	rpc00103	細胞周期の同調培養および形質転換が可能	液体	b1 + b2 + e
	MM2d-LS	rpc00104	MM2d 由来、細胞周期の同調培養および形質転換が可能	液体	b1 + b2 + e
	YG1-c	rpc00111	YG1 懸濁培養細胞株由来のカルス培養細胞株、暗所で維持	ゲランガム	b1
	At tom-c	rpc00112	At tom 懸濁培養細胞株由来のカルス培養細胞株、トバモウイルスの増殖を不許容	ゲランガム	b1

植物和名	細胞株	リソース番号	特徴	培地	分譲制限**
スイカ	Cba-1	rpc00011	アルカリ性ホスホジエステラーゼI活性が高い	寒天	a
セイヨウタンポポ	ToF	rpc00064	アントシアニンを生産(暗紫色)	寒天	a
タケ	Pn	rpc00047	細胞壁に β -グルカン構造を高度に蓄積	液体	b1
	Pb	rpc00048	細胞壁に β -グルカン構造を高度に蓄積	液体	b1
タバコ	BY-2	rpc00001	増殖が速い	液体	a
	T-13	rpc00009	クマリン(スコポリン)生成	液体	a
	Xan-1	rpc00035	_	寒天	a
	BY-2H	rpc00036	BY-2 由来の植物ホルモン非要求性株	寒天	a
	GV7	rpc00039	GFP-AtVAM3 により液胞膜を可視化した形質転換 BY-2 細胞株	液体	b1 + e
	GF11	rpc00040	GFP-AtFim1 によりアクチン繊維を可視化した形質転換 BY-2 細胞株	液体	b1 + e
	GT16	rpc00041	GFP-tublin $lpha$ により微小管を可視化した形質転換 BY-2 細胞株	液体	b1 + e
	TBY2-AtRER1B	rpc00042	GFP-AtRer1b によりゴルジ体を可視化した形質転換 BY-2 細胞株	ゲランガム	b1
	3n-3	rpc00043	クラウンゴール細胞	寒天	a
	BY-TIPG	rpc00062	NtTIP1;1-GFP により液胞膜を可視化した形質転換 BY-2 細胞株	液体	b1 + e
	NI	rpc00084	光独立栄養株	液体	b1 + b2 + e
	ATR-r	rpc00085	NI 由来のアトラジン及び DCMU 耐性株	液体	b1 + b2 + e
	NaCl-r	rpc00086	NI 由来の耐塩性株	液体	b1 + b2 + e
	TBY2-31/ST	rpc00091	GFP-AtSYP31 によりゴルジ体シス槽および ST-mRFP によりゴルジ体トランス槽を可視化した 形質転換 BY-2 細胞株	液体	b1
	TBY2-41/ST	rpc00093	GFP-AtSYP41 によりトランスゴルジ網および ST-mRFP によりゴルジ体トランス槽を可視化した形質転換 BY-2 細胞株	液体	b1
	TBY2-R31	rpc00095	mRFP-AtSYP31 によりゴルジ体シス槽を可視化した形質転換 BY-2 細胞株	液体	b1
ダイズ	DG330	rpc00051	植物ホルモン不要、ダイジン・ゲニスチンを生産	ゲランガム	b1 + b3 + e
ツユクサ	TA416	rpc00068	植物ホルモン不要、アントシアニンを生産(青紫色)	ゲランガム	b1 + b3 + e
ツルニチニチソウ	Vma-1	rpc00021	_	寒天	a
ヅボイシア	Dm	rpc00059	ナリンゲニンの配糖化、L-ラムノースの D-グルコースへの変換、トロピンのアセチル化	寒天	b1
トムト	Sly-1	rpc00012	アルカリ性ホスホジエステラーゼI活性が高い	寒天	a
	GCR26	rpc00045	-	液体	b1
	GCR237	rpc00046	トマトモザイクウイルス抵抗性遺伝子 Tm-1 を保持	液体	b1
ニチニチソウ	CRA	rpc00014	_	液体	a
	V208	rpc00015	クラウンゴール細胞、ブラシノライド生産	液体	a
ニンジン	kurodagosun	rpc00002	不定胚分化	液体	a

植物和名	細胞株	リソース番号	特徴	培地	分譲制限**
	NC	rpc00101	不定胚形成能を失った細胞株	液体	b1
ハッカ	Mar-1	rpc00013	アルカリ性ホスホジエステラーゼ I 活性が高い	寒天	a
ハマボウフウ	GlW	rpc00057	アントシアニン非生産株(白)、エリシター処理によりクマリン誘導体を生産	寒天	b1
	GlV	rpc00058	アントシアニン生産株(紫)	寒天	b1
ヒャクニチソウ	ZE3	rpc00030	_	寒天	a
ブドウ	VR	rpc00003	アントシアニン合成能が高い	寒天	a
	VW	rpc00004	アントシアニン合成能が低い	寒天	a
	YU-1	rpc00049	増殖が旺盛	液体	e
	YU-1-c	rpc00110	YU-1 懸濁培養細胞株由来のカルス培養細胞株、増殖が旺盛	ゲランガム	e
ヘチマ	LcyD6	rpc00028	_	寒天	a
	LcyD7	rpc00029	_	寒天	a
	Lcy-1	rpc00019	[発送停止]	寒天	a
ヘビノネゴザ	AY-01	rpc00100	シダ植物由来、高カドミウム耐性	液体	a
ホウレンソウ	Spi-WT	rpc00016	_	液体	a
	Spi-I-1	rpc00017	硝酸還元酵素欠損変異株	寒天	a
	Spi-12F	rpc00018	硝酸還元酵素欠損変異株	液体	a
ミヤコグサ	Lj	rpc00032	_	液体	b2
	LjA	rpc00033	_	寒天	b2
	LjmA	rpc00034	_	寒天	b2
ムラサキ	M18-1	rpc00037	光・ NH_4 ⁺ ・2,4-D でシコニン生合成を抑制、オリゴガラクツロン酸・ジャスモン酸メチルでシコニン生合成を促進	寒天	b1 + b2
	OM	rpc00038	M18-1 株と同様に選抜されたシコニン非生産株	寒天	b2
モモ	P468	rpc00066	植物ホルモン不要、アントシアニンを生産(濃赤色)	ゲランガム	b1 + b3 + e
ヨウシュヤマゴボウ	PAR	rpc00005	ベタシアニン合成能が高い(赤)	寒天	a
	PAP	rpc00006	ベタシアニン合成能がある(ピンク)	寒天	a
	PAW	rpc00007	ベタシアニン合成能が低い	寒天	a
リチャードミズワラビ	Cr-AH	rpc00102	シダ植物由来	液体	b1 + e
ロッカクヒルギ	BsLs	rpc00087	マングローブ植物由来、高塩耐性	液体	b1
		<u> </u>			

^{*} ウェブカタログ: https://plant.rtc.riken.jp/resource/cell_line/cell_line_list.html

^{**} **分譲制限:a**, 特に制限を加えない。; **b1**, 利用者は、研究成果の公表に当たって寄託者の指定する論文を引用する。; **b2**, 利用者は、謝辞の表明を必要とする。; **b3**, 利用者は、別に定める寄託条件の範囲内で利用する。この場合、利用者は事前に寄託者の提供承諾書を得る。; **c**, 樹立者の承諾を必要とする。; **e**, 本リソースの利用条件に関しては実験植物開発室までお問い合わせください。